

# 中国製ナゲット販売中止

の記事を読んで

藤ノ木中学校 二年 森下 拓海

中国の企業はなぜ同じことを繰り返すのだろうか。食の安全に対する考え方はどうして中国の物を使用し、販売していくのだろうか。僕はこの新聞を読んでそう思った。

なぜ中国の食の安全問題はたびたび起ころ

のか。日本の食品企業では、カビがはえた商品や期限切れ、落ちた物はたぶん廃棄されていると思う。僕はそれが当然、当たり前だと思っていた。今問題になっている「上海福喜食品」はそんな商品を正規の商品と混ぜて使用していた。そして、その鶏肉を使用したナゲットを、マクドナルドやファミリーマートが輸入していた。気持ちが悪くなった。僕はマクドナルドに行き、よくナゲットを食べていたからだ。これから、マクドナルドにそん

なに行きたくな、と言う気持ちになつた。

日本の企業は安いといふ理由で中国の物を  
使用し、販売しているのだろう。今までに冷  
凍ギミックやインゲン、粉ミルクなど問題が  
起つて、いるのに、なぜ同じようなことを繰  
り返すのか。中国が作っている商品は、かな  
り安い。しかも大量生産できる、というのが  
中国の商品の利点。しかし、中国は利益を最  
優先にし、消費者のことを考えていない企業  
が多いのだと思つたから、ルールがあつた  
として守らない。ルールを知らない人まで  
いる。そして、同じことを何度も繰り返す。  
期限切れを食べても死ぬことはない」と、  
上海福喜食品の従業員が話したと云う。そこ  
で僕は思つた。本当に体に影響がないのか。  
影響がなければ何をしてもよいのか。もし  
といふことを考へなゝのか。この企業の  
上層部の人や製造していゝ人々は、この商  
品を食べていいのだろうか。まことに食べてい  
なかつたに違ひない。自分たちが食べたくな

い物を販売しているのに罪悪感はなかったのか。内部告発した人は、強い罪悪感に襲われてつらくて内部告発したのだと思う。

僕はどうしたら同じことを繰り返さないようになるかと、うことを考えた。まず皆にルールがあることを知らせる。守るよう伝えよる。そして、管理者が検査を徹底し、抜き打ちで検査を行うようにする。一人一人の意識を変えることが大切だ。しかし、従業員が上層部に報告しても、そこで話が進まなくなることが問題である。だから、企業の上層部の人の意識を変えないといけない。間違った指示をしたり、従業員の意見を聞かない上層部や経営者への指導が大切だと思う。今後、このような食の安全問題が起きないことを願う。



#### 中国の食の安全問題事例

「偽粉ミルク」事件が発生し、乳児が多数死亡  
[2004年]

中国製ギョーザに有機リン系殺虫剤「メタミドホス」が混入する中毒事件が発覚[08年1月]

有害物質メラミンが混入した粉ミルクが中国国内で出回って約30万人の乳幼児が腎臓結石などを発症  
[08年9月]

輸入した中国産の冷凍インゲンを食べた人が口にしづれ。高濃度の農薬を検出 [08年10月]

使用期限切れの鶏肉を使っていた中国・上海の食品会社から、国内で販売する「チキンマックナゲット」を輸入していたと日本マクドナルドが発表  
[04年7月]

#### ズーム

鶏肉の輸入 日本マクドナルドなどが中国から輸入していた鶏肉製品は、輸出入統計では焼き鳥や鶏の空揚げなどとともに「鶏肉調製品」に含まれるとみられる。農林水産省によると、日本が2013年に輸入した鶏肉調製品は約44万トン。うち、中国からが約22万トンで最も多く、タイからが約21万トンで2位だった。一方、鶏肉そのものの輸入は約41万トンで、このうち約38万トンがブラジルからだった。

「上海福喜食品有限公司」の鶏肉加工品の生産ライン  
=20日、中国上海市（共同）

## 期限切れ鶏肉使用か

中国・上海の食品会社「上海福喜食品」が、外資系ファストフード大手に使用期限の切れた肉加工品を供給していたことが22日までに分かった。日本マクドナルドは同日、同社から、国内で1年間に販売する「チキンマックナゲット」の約2割を輸入していたと発表した。ファミリーマートも「ガーリックナゲット」用に輸入していた。両社は計1万店余で販売を中止し、実際に期限切れだったかどうかを調べている。

【関連記事27面】

上海の食品監督当局と警察は合同調査チームを発足させた。日本の厚生労働省も情報収集に乗り出した。日本マクドナルドが上海福喜食品のナゲットを販売したことのある店舗は、国内全体の約4割に当たる約1340店に上る。店舗があるのは茨

城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡の1都10県にわたり、影響が広がった。

約1340店のうち、問題の発覚時点での販売していたのは同じ1都10県にまたがる約500店で、21日から22日にかけて販売を中止した。問題の鶏肉を使用した商品は、こ

う。 残る約840店に関しては、現時点では上海福喜のナゲットを販売しておらず、タイや中国の別の食社が生産した鶏肉で販売を続いた。 販売を中止した約500も、タイ製などへの切り替

# 中国製ナゲット販売中止

## マックとファミマ1万店

# 店

か約21万トンで2位だった。一方、鶏肉そのものの輸入は約41万トンで、このうち約38万トンがブラジルからだった。

ち、千葉、  
山梨、  
県にわた  
る、問題  
たがる約  
22日に  
た。問題  
品は、こ

のナゲット以外にはないとい

を進めて23日まで販売を再開する。

残る約840店に関しては、現時点では上海福喜食品のナゲットを販売しておらず、タイや中国の別の食品会社が生産した鶏肉で販売を継続した。

日本マクドナルドは、2013年に上海福喜食品から約4300トントのチキンマックナゲットを輸入していた。

ファミリーマートも国内のほぼ全店に当たる約1万店で、今月発売したガーリックナゲットの販売を22日に中止

した。一部で試験販売中の「ポップコーンチキン」の販売も中止した。

両社によると、健康被害などの情報は現時点で消費者から寄せられていない。日本ケンタッキー・フライド・チキンは輸入していないかった。

今回の問題は、上海のテレビ報道で20日に発覚した。中

国紙、経済日報（電子版）の22日の報道によると、上海福喜食品の責任者は当局の調べに対し、使用期限切れの鶏肉を再利用するのは会社の長年の一貫したやり方で、上層部が指示していたと語った。当局は期限切れの肉を売ることを指示する内容の書類を押収した。